

7. 帝王切開について

(1) 帝王切開とは

自然分娩が難しいと判断された場合に選択される出産方法です。
お母さんの腹部と子宮を切開して、お腹から直接赤ちゃんが産まれます。

(2) 帝王切開が行われる主なケースは次の通りです。

予定帝王切開では

骨盤位（逆子）、多胎妊娠、前置胎盤、前回帝王切開、子宮筋腫核出術後などです。

緊急帝王切開では

胎児機能不全、常位胎盤早期剥離、妊娠高血圧症候群、回旋異常、児頭骨盤不均衡、帝王切開が予定されている方の分娩開始などがあります。

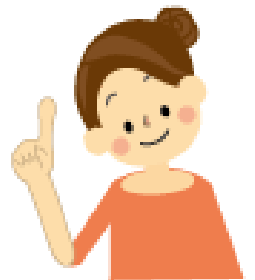
(3) 入院までのスケジュール

- ・ 予定帝王切開の場合、陣痛が起こる前で、赤ちゃんの成長が十分な37週後半～38週頃に手術となることが多いです。当院では、32～34週頃の健診で手術日を決めます。入院予定日の前に陣痛が始まったり、破水や出血があった場合は、すぐに病院に連絡しましょう。
- ・ 手術前検査として、血液検査、心電図検査、胸部 X 線写真などが行なわれます。経過が順調な場合は、手術の前日の午後に入院となります。全身麻酔の予定の方は前日の朝の入院となります。（麻酔科を受診のため）
- ・ 前置胎盤等の方は、通常より手術の出血が多い可能性があります。経過が順調で貧血がない方は、「自己血」といって自分の血液を献血のようにパックにとって保存しておくことがあります。その日程については個別に医師より説明があります。

(4) 入院から手術までのスケジュール

〈手術前日〉

- ① 入院オリエンテーションがあります。手術に必要な物品が揃っているか確認します。
- ② 胎児心拍数モニターをつけて、赤ちゃんの心拍数とお腹の張りを確認します。
- ③ 超音波検査があります。
- ④ 医師からの手術説明があり、承諾書にサインをいただきます。ご家族には、電話での説明になります。
- ⑤ 21:00からは食べることはできません。水分（水やお茶など）は当日の6時まで飲むことができます。



〈手術当日〉

- ① 除毛しシャワーで流します。

切開の部位は下腹部で、切開の方法は2種類(縦・横)あります。手術前日に医師から説明があり決定します。2回目以降の場合は、前回と同じ方法になります。

- ② 術衣へ着替えます。
- ③ 点滴を開始します。
- ④ 胎児心拍数モニターをつけます。
- ⑤ 静脈血栓塞栓症予防のストッキングを装着します。
- ⑥ 3方開きショーツに履き替えます。
- ⑦ ベッドのまま手術室へ入室します。

〈手術室にて〉

- ① 麻酔をします。

麻酔の方法は、全身麻酔と腰椎麻酔があります。医師の判断で事前に決定します。多くは腰椎麻酔で、横向きになって腰から麻酔をします。

- ② 麻酔が入ったら、上向きに寝て血圧計や心電図モニターをつけます。
- ③ 尿管が入ります。
- ④ 血栓症予防の器械がつきます。
- ⑤ 消毒して手術が始まります。
- ⑥ 下腹部の皮膚を切開します。

麻酔が効いて痛みは感じませんが、触っている感じ、引っ張られる感じはわかりません。

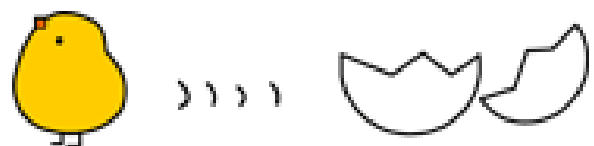
- ⑦ 赤ちゃんが産まれます。

腰椎麻酔では、お母さんの意識はあるため手術中でも産声を聞けますし、赤ちゃんのお顔を見て触ることもできます。

生まれてすぐに小児科の先生の診察があります。

- ⑧ 子宮を縫い合わせ、お腹の傷を縫合します。

子宮やお腹の傷は溶ける糸で縫い合わせ、シールでカバーして手術は終了です。



(5)手術後から退院までのスケジュール

〈手術後〉

- ① お母さんより先に、赤ちゃんが手術室から帰ってきます。
赤ちゃんは体重など必要な計測を行い、出生後2時間まではスタッフが観察します。
- ② お母さんが帰ってきます。
ベッド上で過ごします。スタッフが定期的に状態観察に伺います。
手術が終わって3時間がたてば、水分摂取はできますが、スタッフに聞いてから飲んでください。
- ③ お母さんの状態、赤ちゃんの状態が良ければ、お部屋で赤ちゃんとの面会ができ、早期母子接触をしたり、おっぱいを吸わせます。
- ④ 赤ちゃんは預かります。
- ⑤ 手術後は痛み止めを使います。
傷の痛みが心配だと思いますが、座薬や飲み薬の痛み止めが使えるのであまり心配はいりません。

〈術後1日から7日〉

- ① 母児同室になり本格的に育児開始です。
- ② 術後1日目の朝食から食事が始まります。
- ③ 1日目の昼頃に尿管、点滴を抜いて歩行ができます。
- ④ 2日目からは売店など病棟外まで歩行ができます。
- ⑤ 3日目からシャワー浴が出来ます。それまでは清拭タオルをお渡しします。
- ⑥ 6日目で医師診察があります。問題がなければ、7日目退院です。
※経産婦さんは術後5日目で医師診察があり、6日目の退院となります。

退院おめでとうございます。

